

情報社会論

(春学期、秋学期 2単位)

喜多 千草

Information Society

■授業概要

「情報社会」とは何か。それは自明なことではない。しかし、情報通信技術の発展・普及とともに、社会が変容してきたのは紛れもない事実であろう。そこで本講義では、特に二十世紀に起こった社会変容に注目し、主にデジタルコンピュータやそのネットワーク利用をめぐる社会変容に関わる現代的諸問題を、社会学および歴史学的観点から分析する。それらの問題には多数の論点が存在し、必ずしも答えはひとつに収束しない。むしろ「情報社会」とは何かについて、受講生自ら考察することが求められている。

■到達目標

文理融合型の総合情報学部の基幹科目として、情報と社会について考える基礎的な視点を得ることを目標とする。さらに教職科目として、高校の「情報」教員として自ら授業を組み立てる際の基礎を身につけることを目標とする。

■授業計画

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 情報社会を論ずるとは
- 第3回 メディア史(技術決定論と社会構成主義)
- 第4回 コンピュータとインターネットの歴史
- 第5回 情報社会を生きる子どもたち①
- 第6回 情報社会を生きる子どもたち②
- 第7回 情報社会と匿名性①
- 第8回 情報社会と匿名性②
- 第9回 マスメディアの流れ
- 第10回 多メディアの時代と世論形成
- 第11回 広告コミュニケーションの発展と転回
- 第12回 (選択テーマ) ①
- 第13回 (選択テーマ) ②
- 第14回 情報社会の現在
- 第15回 まとめ

■授業時間外学習

多くの回に予習課題が出されるので、指示に従い事前にオンラインで提出を行う。また小テストが出された場合は、授業後の一定時間内にオンライン解答する。

■成績評価の方法

定期試験を行わず、平常試験(小テスト・レポート等)で総合評価する。
予習課題および授業内課題、小テストで100%

■成績評価の基準

予習課題および授業内課題、小テストを成績評価の対象とする。

■教科書

とくに使用しない。必要に応じて資料を配布する。

■参考書

各回のテーマに合わせて参考文献を紹介する。

■備考

インフォメーションシステムを連絡や課題提出に利用するので、随時確認すること。